

## 臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2021年4月1日から 2021年10月30日までの期間に、  
福井赤十字病院に入院され身体抑制を受けた患者さん及びご家族の方は  
以下をご覧ください。

### 【研究課題名】 身体抑制削減の取り組み

～身体抑制カンファレンス内容を看護実践に反映させる～

【研究期間】 2021年4月1日～2022年3月31日

【研究責任者】福井赤十字病院 所属 2－7 病棟 氏名 看護係長 宮地牧子

### 【研究目的と意義】

身体抑制とは、「一時的に患者さんの身体や行動を制限すること」を指します。身体抑制は、医療や介護の現場では安全を確保する観点からやむを得ないものとして行われてきました。

高齢社会を迎え、医療や介護の場で身体抑制への社会的な関心が高まり、身体抑制は患者さんの基本的人権や人間の尊厳を守ることを妨げる行為であると問題視されるようになりました。急性期医療の場においては、身体抑制を開始する場合は3つの要件である、切迫性（命や身体に危険が発生する可能性が高い）、非代替性（他に方法がない状態である）、一時性（あくまでも一時的であること）、を満たした場合のみ身体抑制を実施することが認められています。そして、医療者で話し合いを持ち、できる限り身体抑制をはずす取り組みが行われることが必要とされています。

当院では2018年より身体抑制を減らすことを目的に活動しています。当院の運用方法は、身体抑制の話し合いの中で、身体抑制を解除するための案を出し、その内容を看護計画につなげ、看護指示を出して日々の看護実践を展開するように、看護師に指導を行っています。身体抑制の話し合いを倫理的視点で行い、身体抑制を解除するための取り組みを看護計画と看護指示に反映させ看護実践に繋げることで、身体抑制を減らすことを目的にします。

### 【研究の方法】

福井赤十字病院で2021年4月1日から 2021年10月30日までの期間に、身体抑制を実施した患者さんを対象とします。研究の方法として、過去の診療記録（電子カルテ情報）から、年齢、性別、既往疾患、身体抑制の目的、身体抑制の内容、身体抑制を解除するための取り組みが2つ以上記載できているか、身体抑制を解除するための取り組み2つ目の内容（「医療者がそばにいるときは外す」以外の内容）、身体抑制を解除するための取り組みが看護計画に反映されているか、身体抑制を解除するための取り組みが看護指示に反映されているかを調査しました。新たに患者さんに

検査や経済的負担をいただくことはございません。また研究実施計画書及び研究の方法に関する資料をご希望があれば閲覧することもできますので、お申し出ください。この研究は福井赤十字病院倫理委員会審査、病院長の許可を受けて実施するものです。

#### 【個人情報の保護】

収集したデータは匿名化した上で保管します。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」「個人情報保護に関する法律」を遵守し、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、個人が特定されないよう、研究対象者に符号を付与します。対応表は本研究の研究責任者が個人情報を厳重に保護します。

#### 【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は患者さんの過去のデータを利用するだけです。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされており、しかしご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思えます。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の担当医師までお知らせください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータを分からない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

#### 【問い合わせ先（研究担当者）】

氏名：宮地牧子

（福井赤十字病院 2-7病棟）

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630

FAX：0776-36-4133